教養教育科目 講義科目

授業科目名	文化人類学で異文化を学ぶ	科目コード	配当年次	単位
担当教員	玉置　真紀子	GA57	1	2

科目の概要

世界中で頻発する現代の戦争を理解するために、東アフリカの牧畜民社会で起きてきた戦いをとおして検討する。文化人類学は、一見、無関係に見えることを比較対象にし、私たちが「常識」だと信じる物事の切り分け方とは違う枠組みで考える。それにより文化の多様性を理解することを目指す学問である。

本科目では、現代社会の「あたりまえ」を「ちょっと待って、本当にそうなの？」と問い直す人類学的な考え方について、様々なテーマで解説する。文化人類学的に思考することで、新たな「ものの見方」を獲得し、ある事象を多面的に考察する方法を学ぶ。

科目の到達目標

①文化人類学的な「ものの見方」が理解できる。
②現代社会の様々な課題やその解決について、文化人類学的アプローチを利用することができる。

テキスト	『文化人類学の思考法』松村 圭一郎 他(編),世界思想社,2019年

テキストの読み方

テキストは、三部構成で書かれている。
①第Ⅰ部は「私たちの世界の基盤をなしている区分けを文化人類学的に見直すこと」が試みられている。
②第Ⅱ部では、「私たちの世界にすでにあるものがどのように生成しているのか」について文化人類学的に見直すことが試みられている。
③第Ⅲ部では、「人が集団のなかで生きていることの意味を考えていく」ことが記されている。
④上記①～③を意識して読み進め、学生は、日々の暮らしの中の「あたりまえ」から外に出る人類学的思考法を読み取ることが望まれる。

単位修得の方法

リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。